



議会だより

# でいすかす

132号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2026.6.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

## 予算審査特集

委員15名が  
令和8年度予算を問う

### 令和8年度当初予算の内訳

全会計

440億7,870万円

(前年度当初予算比27億7,950万円減)

一般会計

276億3,100万円

(前年度当初予算比34億5,300万円減)

特別会計

102億6,890万円

(前年度当初予算比7,060万円増)

公営企業会計

61億7,880万円

(前年度当初予算比6億290万円増)

### 令和8年度 予算審査の概要

令和8年度  
予算審査の概要

本市の一般会計予算は276億3千100万円、前年度と比べ、34億5千300万円減、11・1%減となりました。

市役所本庁舎建設事業費や西いぶり消防指令センター整備事業費などの大規模事業の減少が主な要因です。一方で、リンクフルセンター再延命化事業や道道上登別室蘭線東通改良受託事業などの増加が見込まれています。

歳入では、市民税の増収を見込み、

市税全体で増となる見込みですが、人口減少などの影響を踏まえ、地方交付税は前年度とほぼ同程度を見込んでいます。

また、赤字予算となったことから、家計の貯金にあたる財源調整用基金などを5億円活用して予算が編成されました。

歳出では、子ども医療費助成や保育料多子軽減、保育所遊具購入費など子育て支援の取り組みをはじめ、富岸児童館整備や小学校空調設備整備など教育環境の充実に向けた事業が計上されています。

さらに、地域公共交通計画の見直しや観光振興、ゼロカーボンシティ推進などの将来を見据えたまちづくりに関する取り組みも盛り込まれています。

これらの事業内容や財源の考え方などについて質疑が行われ、審査の結果、令和8年度各会計予算案は原案のとおり可決しました。

詳しい質疑の内容を録画配信でご覧いただけます。スマートフォンなどをお持ちの方は、下の二次元コードからご覧ください。



(つ)

## 予算・決算委員会（令和8年度予算審査）総括質疑、各委員の質疑

### 総括質疑

#### 市民・前進



**質** 令和8年度予算は、第4期基本計画の初年度であり、中期財政見通しを踏まえた事業の整合性や優先順位付けが求められる中、将来的な市民生活への影響なども考慮し、重要な分岐点と捉えて総括質疑を行いました。

**質** 持続可能で将来に負担を残さない予算となったのか。

**答** 当初予算は均衡予算には至らず、財源調整用基金等を活用して編成することとなったが、まちづくりに必要な予算を積み上げたものと捉えている。

引き続き歳入の確保や創意工夫により少ない経費で成果が得られるよう取り組み、収支不足解消に向け、財源調整用基金等の維持・確保に努めていく。

**質** 予算編成に当たる市長の思いは。

**答** 課題は多く残されているが、ごどもファーストの充実が図られるように笑顔をしっかり守っていききたい。

各地域の賑わいを創出することによって未来につなぎ、一人ひとりが自分らしく生きていける糧となるよう人口減少をはじめとした課題に戦略的に向き合っていきたい。

(伊藤)

### 総括質疑

#### 市政クラブ



**質** 歳入の根幹となる市税について、人口が減少しているにもかかわらず、令和8年度の当初予算額が前年度より約1億1千万円増加しているが、この要因についての見解は。

**答** 課税対象人数が前年度決算見込みで約300名増加し、併せて、平均課税額も約3千円上昇した。

加えて、個人の収入増に伴う1人あたりの課税額が増加しているため、予算額は約1億1千万円の増となっている。

**質** ふるさと納税は本市の自主財源を確保する上で重要な位置づけとなっており、予算額が前年度とほぼ同額の約15億5千万円となっているが、この水準が寄附額のピークか。

**答** 令和8年度のふるさと納税目標額は前年度とほぼ同額であるが、市政執行方針で示したとおり、本市の優位性であるウニなどの水産物や観光資源を最大限に生かした返礼品を維持しながら新たな返礼品の発掘・開発に取り組むこととしており、将来の寄附額は17億5千万円到達を目標に掲げている。

よって、令和8年度予算額の15億5千万円は最終到達点（ピーク）とは捉えていない。

(若木)

### 総括質疑

#### 公明党



**質** 先般、ガソリンの暫定税率が廃止され、揮発油税と地方揮発油税、軽油引取税の暫定税率分がなくなるようになるが、このうち地方揮発油税は、地方自治体への財源譲与を目的とした地方譲与税の一つであり、国税でありながら、その税収は全額が地方自治体に譲与される仕組みとなっている。

このことから、暫定税率の廃止により、本市にも影響があるのでは。

**答** 令和8年度は国からの地方特例交付金によって全額が補填されるが、国は令和9年度以降は税制改正で結論を得るとしていることから、本市としてもその動向を注視していく。

**質** 本市では、公共施設の老朽化対策や新庁舎建設などの投資的支出が一定期間続き、今後において、公債費の増加が見込まれるが、本市の実質公債費比率はどのようになるのか。

**答** 本市の実質公債費比率は、3カ年平均で10%程度で推移し、国の基準を大きく下回っているが、現在、複数の大型事業を同時進行しており、今後は、上昇傾向で推移することが予想されていることから、その動向に注意を払いながら、計画的な財政運営に努める。

(小栗)

### 総括質疑

#### 無所属・無会派



**質** 令和7年度当初予算額と比較して、ごども関連の事業で主な増減要因となった内容は。

**答** 増加した主なものとしては、令和8年4月より警別保育所の民間委託を開始することに伴い、普通保育所の運営管理業務委託料が増額しているほか、放課後児童クラブの併設により整備予定である（仮称）富岸児童館について、基本設計等に着手するための整備事業費を予算計上している。

教育分野においては、ICT教育のさらなる推進に向けて、小中学校情報教育推進事業費の予算を増額するとともに、学校の教室へのエアコン整備として、小学校空調設備整備事業費を計上している。

一方、主な減少要因としては、児童手当および児童扶養手当について、それぞれ支給延べ人数の状況から減少を見込んでいるほか、幌別児童館統合整備事業については、令和7年度をもって事業を完了するところである。

また、小学校および中学校において、昨年度は、校舎の照明器具のLED化に集中的に取り組んだことが主な減少要因となっている。

(足立)

## 子ども・子育て支援金制度の 取り組みは

**質** 子ども・子育て支援納付金として税率の引き上げを行わなかった場合の影響は。

**答** 子ども・子育て支援金制度導入に伴い、国への納付金額が決まっている。税率の引き上げを行わない場合には財源を確保できなくなるため基金の取り崩しを行うこととなるが、単年度収支が赤字となっている現状において、その補填財源としての基金を取り崩すことは、国保財政のさらなる悪化につながる。

(戸井)

## 介護保険特別会計 第10期計画に向けて

**質** 被保険者数の減少や低所得層の多さ、給付費の増加という厳しい構造の中で、介護保険制度を将来にわたり持続可能とするため、第10期計画をどのような方向性で策定するのか。

**答** 各種アンケートや給付実績を踏まえ、国の基本方針に沿い、本市の実情に即した計画を策定する。保険料は給付費見込みや基金状況を勘案して適切に設定し、給付費の適正化と制度の安定運営を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を構築する。

(成田)

## スキー場収益を上げる 取り組みは

**質** リフト使用料以外の収益の増加に向けて、どのように取り組むのか。

**答** インバウンドの誘致や小規模スキー場の特徴を生かした修学旅行の受け入れ、イベント開催に取り組んでいる。スキー修学旅行は、物価高騰や航空運賃の上昇により特に九州方面からの誘致が難しい状況であるが、旅行者者と連携して営業を進めていく。イベントは、サンライバこどもの日と題し、18歳以下の利用促進につながる取り組みを実施していく。

(工藤)

## 簡易水道施設の 復旧工事後の耐震性は

**質** 令和7年度に被害を受けた簡易水道施設の本復旧工事後の耐震性は。

**答** 被災した取水施設の本復旧工事については、国の災害復旧事業を活用するためには原形復旧が原則である。

しかし、原形復旧が困難であることから、一部の構造物については、最新の基準に基づき復旧する。また、管路の復旧は耐震性を有するものとなることから、本復旧工事後は、既存施設よりも耐震性の機能が強化された施設になるものと判断している。

(天神林)

## 姉妹都市交流事業の 継続のあり方

**質** 姉妹都市交流事業の中で子どもたちのスポーツ交流が将来にわたる都市間の友好関係を支える大変有意義な取り組みであると考えますが、その認識は。

**答** 子どもたちのスポーツ交流事業については将来的に継続していくことが重要であると認識している。

**質** 宿泊費や交通費の高騰が続ぎ、スポーツ団体の負担が増しているが、現状をどのように把握しているか。

**答** 今後の事業実施には、十分に打ち合わせた上、意見・要望を聞いていく。

(杉尾)

## 鬼まちMaasによる まちづくりは

**質** 鬼まちMaasの目的と内容は。中央地区の活性化を図ることを目的としている。

内容は、デジタル技術を活用した交通移動支援に係る実証であり、外部事業者への委託を予定している。

配車システムを活用するほか、アーニスなどで発行するレシートの金額に応じて協力事業者のタクシーで利用可能なクーポンを発行する予定である。なお、千円の購入ごとに100円分のクーポンの配布を想定している。

(金澤)

## 総合防災訓練での ペット避難の訓練は

**質** 令和8年度総合防災訓練において、ペット避難の訓練は実施されるのか。

**答** 令和8年度の総合防災訓練については、地震・津波を想定したJR線路横断を含む津波からの避難を主要な訓練として検討しており、避難訓練においては、高台避難場所までのペットとの避難について、参加いただくことは可能と考えている。

細部の訓練内容については、現在検討しているところであり、地域の方と協議しながら具体化していく。

(足立)

## JR線路横断避難の 安全性を求めて

**質** 夜間や停電時の視認性の確保は。照明設置不可のため夜間停電時は懐中電灯携行の周知を呼びかけていく。

**質** 手すりなどの設置は。

**答** 許可が下りず設置しない。

**質** 除雪対策は。

**答** 保安員の調整がついた日程で除雪を実施する。津波避難時の線路横断の必要性は理解するものの、津波避難は一度しか本番がないことを踏まえ、委員間協議を実施し、付帯決議の提案をしました。

(今野)

## 生活困窮者支援事業の 就労支援は

**質** 就労支援事業が令和8年度から直営となるが、市民や職員に与える影響は。

**答** 就労支援事業は、就労の前段階に必要な生活習慣や社会的能力などの形成を図る事業である。

利用者との面談やパソコン操作習得などの具体的支援については、主にキヤリアコンサルタントの資格を有する外部講師に依頼する。

外部講師と市担当が連携し、事業利用者を支援していく。

(井野)

## タクシー事業者の 乗務員不足対策は

**質** 交通事業者第二種免許支援補助金の事業を導入した経緯は。

**答** タクシー事業者の乗務員確保の支援のために導入した。

**質** 対象となる事業者は何社か。

**答** 2社を想定している。

**質** 一人当たりの補助額はいくらか。

**答** 一人当たりの第二種免許取得費用を約30万円と見込んでおり、その4分の1に当たる7万5千円を補助額として想定している。

(佐々木)

## 今後の地域公共交通計画の 行方は

登別市地域公共交通計画は、令和8年度をもって計画期間が終了となるため、令和9年度からの新たな計画の策定に向けて、地域公共交通計画改訂事業費について質疑しました。

**質** 交通計画の改訂に向けて、近隣の医療機関の再編も視野に入れる考えは。

**答** 当該再編に伴い、今後どのような影響が生じるのかを交通事業者などの関係者に確認した上で、その内容を登別市地域公共交通活性化協議会とも共有しながら計画改訂を進めていく。

(伊藤)

## 法人後見支援事業補助金

**質** 令和7年度と同額の事業費450万円の内訳は。

**答** 登別市法人後見支援事業補助金交付要綱において補助金の上限額を昨年度と同額の450万円と規定している。

内訳は、登別市社会福祉協議会の法人後見業務を主に担っている職員1名の人件費に充てられている。

**質** 事業開始後の実績は何件あるのか。

**答** 本事業開始後に登別市社会福祉協議会が後見などを受任した実績は、現在まで1件と聞いている。

(石田)

## 保育所民営委託と 今後の方向性

**質** 登別保育所民営委託による子どもへの影響は。

**答** 移行後は、民間事業者が運営することで、民間の手法や技術を取り入れた保育の充実が図られると考える。

**質** 保育認定児童が減少する中で、今後の施設の考えは。

**答** 現時点では施設の統合などは考えていないが、今後、子どもの人数や保育需要の状況も踏まえ、幼保連携認定こども園への変更と併せた施設の統合も視野に入れていく。

(宮武)

## 出生数増加の要因と 支援体制は

**質** 令和6年度の出生数は155人で令和7年度の出生の見込みが178人と増加し、令和8年度も同様の見込み数となっているが、算出方法と増加の要因は。

**答** 令和7年度の出生数の見込みは妊娠届出時や妊婦が転入してきた時点で把握した出産予定日から算出している。

また、増加の要因については妊娠・出産という命が育まれる課程は奇跡の連続で分析は難しいものの、現状としては大変喜ばしい状況で、引き続きサポート体制の強化を図ってきたい。

(若木)

## 新たにRSウイルスワクチンが 追加

**質** 今回、新たに妊婦への予防接種としてRSウイルスワクチンが始まるが、免疫力の低下や慢性閉塞性肺疾患などの持病を持つ高齢者は肺炎のリスクが高いとされている。

今後、高齢者への定期接種の考えは。  
**答** 現在、高齢者への予防接種については、国において定期接種化に関する議論が重ねられており、有効性や安全性、疾病負荷などの情報収集を行っている段階である。  
今後もその状況を注視していく。

(小栗)

令和8年第2回定例会は  
6月12日(金)から開催される予定です。

議会中継をスマートフォン  
などで閲覧しませんか？

本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンからでもご覧いただけますので、是非ご覧ください。

